

【P. 1】

アストラムライン

広島市の都心部と西風新都内の広域公園前を結ぶ 18.4km の新交通システムで、平成 6 年に開業し、現在では 1 日約 5 万人が利用する、市民生活に密着した公共交通機関となっている。

広島広域都市圏

広島市と通勤・通学、買物、医療など日常生活面での関わりが強い、西は山口県の柳井地域から東は三原地域までの 11 市 12 町を圏域とする都市圏

【P. 2】

アジア競技大会

正式には「第 12 回アジア競技大会広島 1994」で、首都以外で初めて開催された大会。42 の国・地域が参加

【P. 3】

マスタープラン

都市づくりに関する基本的な方針として位置付けられる計画

【P. 9】

クラスター状

ブドウなどの果実や花の房のように、複数の個が連携して集合体となった状態

ランドマーク

ある特定地域の景観を特徴づけたり、目印となるような自然物や人工物

【P. 10】

公開講座

一般の社会人などに対して授業を公開したり参加させたりする講座であり、通常は大学・短期大学で実施される学外向けの授業のこと。

【P. 11】

インフラ

インフラストラクチャー（社会基盤）の略で、市民生活や産業活動の基盤となる上下水道、電気・ガス、道路、アストラムライン等の公共財のこと。

バックアップ機能

大規模災害等の不測の事態においても、保有する重要情報（住民記録等）の喪失のリスクの軽減を図るとともに、仮に被害を受けたとしても、業務の継続や情報システムの早期復旧を図るために必要な機能

自主防災組織

町内会・自治会単位を基本とした、隣保協同の精神に基づく地域住民による自発的な防災組織

災害時相互応援協定

地震や水害など大規模災害が発生した場合、生活物資や一時避難場所の提供など、相互に連携協力していくことについて、当事者間で事前に文書を交わし確認しておくこと。

ライフライン

電気、ガス、通信、上水道、下水道等、市民生活に不可欠な線や管で結ばれたシステムの総称

【P. 12】

地区計画制度

地域の特性に応じたまちづくりを進めるため、建築物等に関するきめ細かなルールと生活道路や公園などの施設に関する計画を一体的に都市計画に定める制度

市街地の整序

住みやすいまちとなるよう、道路や区画を秩序立てて整えること。

まちづくり計画

市街化調整区域内において地区計画の素案を作成しようとする既存集落、自治会等の住民合意の下で作成された将来の計画書及び計画図で、土地利用計画、道路の配置等が記載されているもの

【P. 12】

広島市市街化調整区域における地区計画の運用基準

市街化調整区域における地区計画制度の運用及び当該地区計画の素案の作成に関し必要な事項を定めたもの

環境アセスメント

開発事業等を行うに当たり、環境に配慮した事業にするため、事業の実施が及ぼす影響を事前に調査・予測・評価すること。

【P. 17】

スマートインターチェンジ

高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア等に設置される、ETC を搭載した車両の利用に限定しているインターチェンジ

乗合タクシー

交通事業者が乗車定員 11 人未満の営業用自動車（タクシー）を使用して旅客を運送すること。交通不便地域における生活交通の導入など、路線バスよりも需要規模の小さい場合に使用される。

I C T

情報通信技術のこと。 Information and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略。同様の言葉として I T（Information Technology）の略が使用されているが、国際的には I C T のほうが広く定着している。

（カー）シェアリング

1 台の自動車を複数の人が共同で利用する自動車の利用形態。利用者は自らの自動車を所有せず、管理団体の会員となり、必要な時にその団体の自動車を借りる仕組み

【P. 18】

特定環境保全公共下水道

公共下水道の一種であり、市街化区域外にある農村部の生活環境の改善、あるいは湖沼等の自然環境の保全を目的として整備されるもの

市営浄化槽

し尿と生活雑排水を併せて処理する施設で、市が所管するもの

防災調整池

住宅や工業団地など開発行為に伴い雨水、排水を貯留するために設けられる施設

【P. 19】

景観計画

景観法第 8 条の規定に基づき策定する計画であり、計画区域における良好な景観の形成に関する方針や、建築物等の形態意匠の制限や高さの最高限度など、必要に応じて良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項を盛り込むもの。建築物等の新築、増築などに当たっては届出が必要であり、当該届出に係る行為が行為の制限に適合しないときは、勧告などを行うことができる。

区域区分

都市計画区域について、無秩序な市街化を防止し、計画的な市街化を図るための、既に市街地を形成している区域及びおおむね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域である市街化区域と、市街化を抑制すべき区域である市街化調整区域の区分

低炭素都市

二酸化炭素排出量やエネルギー消費が少ない環境負荷低減型の都市

再生可能エネルギー

太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など、一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギー

【P. 21】

プロモーションセミナー

商品・サービスの販売等のため、その認知、理解、好感度等の促進・向上を図ることを目的として開催する説明会や講習会。西風新都の産業用地の立地環境や企業立地促進のための補助制度の概要等を説明

ひろしま西風新都開発推進協議会

西風新都の都市機能の開発の推進に関する調査研究や広報活動などを行い、西風新都の建設理念にふさわしい都市の建設をめざし、その早期実現を図ることを目的に平成 3 年(1991 年) 5 月に設置した協議会。民間開発事業者 9 社及び広島市で構成している。

【P. 26】

地震被害想定

最悪の条件を設定した上で、過去の地震被害から学術的に導かれる被害の最大値を目安として示したもの

共助

災害時等の対応について、自らが守る「自助」、行政機関による「公助」に対して、近隣で互いに助け合うこと。

【P. 27】

再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度

再生可能エネルギーを用いて発電された電気を、一定価格で電気事業者が買い取ることを義務付けた制度

バイオマス発電

動植物などから生まれた生物資源を直接燃焼したり、ガス化するなどして発電すること。

BEMS（ベムス）

ビルディング・エネルギー・マネジメント・システムの略。ビル等の建物内で使用する電力消費量等を計測蓄積し、導入拠点や遠隔での「見える化」を図り、空調・照明設備等の接続機器の制御やデマンドピーク（最大需要）を抑制・制御する機能等を有するエネルギー管理システムのこと。

HEMS（へムス）

ホーム・エネルギー・マネジメント・システムの略。住宅のエアコンや給湯器、照明等のエネルギー消費機器と、太陽光発電システムやガスコージェネレーションシステム（燃料電池等）などの創エネ機器と、発電した電気等を蓄える蓄電池や電気自動車などの蓄エネ機器をネットワーク化し、居住者の快適やエネルギー使用量の削減を目的にエネルギーを管理するシステムのこと。

【P. 28】

交通情報提供システム

無線通信や GPS などを利用して、バス等の位置情報を収集し、利用者にバス停留所、携帯電話やインターネットなどで情報を提供するシステム

グランドデザイン

長期かつ総合的に見渡した全体構想のこと。

【P. 30】

公共公益施設

道路、公園、学校などの公共の用に供する施設と医療、福祉、金融などの日常生活に必要不可欠な物やサービスを提供する公益的な施設との総称

【P. 31】

インセンティブ

物事に取り組む人の意欲を引き出すために外部から与える刺激

【P. 35】

リカレント講座

社会人が大学等の教育機関で再教育を受けるための循環・反復型の講座

市民菜園

都市住民等がレクリエーションや生きがいを目的に、自家用の野菜や花などの栽培を通じ気軽に農業体験できる小区画の貸し農地